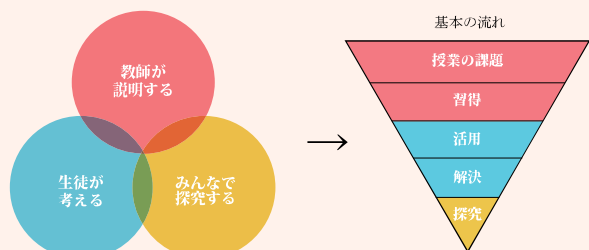




単元を貫く課題

「浦添市民を笑顔にする循環型コミュニティバス(仮称:ティーダバス)について考えよう」

単元の基本の流れとして、授業の始めに「課題説明」「課題習得」を教師が行い、習得した情報を「活用」して生徒が課題について考える。次に、さまざまな目線で「課題解決」のディスカッション等を行う。最後に、課題を振り返り「探究」する。



1st 浦添市の概要を捉え、単元課題を把握する

【授業課題】
浦添市の課題や将来の課題について考えてみよう。

- 【習得】
- ・市の昔と今を比較し、将来を考えさせる
 - ・市の断面図で東高西低に気づかせる
 - ・市の発展の様子に気づかせる

- モノレール延長 ●西海岸開発
- 浦添総合病院移転 ●道路

【活用】
これからの課題を解決して浦添市民が笑顔になるためには、何をしたらいいだろうか。

- 【探究】
- ・単元学習の見直しをつける
 - ・振り返り

2nd 人間の営みを視点として考える

【授業課題】
バスを利用する人の視点に立って、どのようなルートにすると笑顔になるか考えてみよう。

- 【習得】
- ・過去の行政の取り組みについて理解させる
 - ・課題について現状を説明する

- 【活用】
- ・課題を解決するバスルートで必要なこと等について考えよう
 - ①～③のそれぞれの視点に分ける (個人)
 - ①移動制約者(高齢者)
 - ②通勤・通学者
 - ③公共交通空白地域の住民

(グループ)

- ①の人提案→②③の人：アドバイザー
 - ②の人提案→①③の人：アドバイザー
 - ③の人提案→①②の人：アドバイザー
- (全体)で確認する
(個人) 他者のアドバイスを参考にして、考えを再構築させる

- 【探究】
- ・振り返り

3rd 浦添市の現状や発展を視点として考える

【授業課題】
バスを利用する人の視点に立って、どのようなルートにすると笑顔になるか考えてみよう。

- 【習得】
- ・1st時の確認と過去の行政の取り組みについて理解させる
 - ・課題についての現状を説明する
- 【活用】
- ・課題を解決するバスルートで必要なこと等について考えよう

- ①～③のそれぞれの視点に分ける (個人)
- ①西海岸開発・モノレールの延長
- ②交通渋滞
- ③観光客

- (グループ)
- ①の人提案→②③の人：アドバイザー
 - ②の人提案→①③の人：アドバイザー
 - ③の人提案→①②の人：アドバイザー
- (全体)で確認する
(個人) 他者のアドバイスを参考にして、考えを再構築させる

- 【探究】
- ・振り返り

4th バスルートの優先順位を考えよう

【授業課題】
浦添市民が笑顔になる循環型コミュニティバス(ティーダバス)のルートを考えるとき、どの視点を優先させた方が良いかを考えよう。

- 【習得】
- ・単元のこれまでの学習内容について確認する
 - ・浦添市のH17年の取り組みと現在の取り組みについて説明し課題を把握させる

- 【活用】
- ・根拠をもとにして、優先順位を決める(個人)
 - ・個人の考えを画像にし、送信させ一つにまとめる(グループ)
 - ・グループで検討し、優先順位を決める

【探究】

- ・各グループの考えをまとめ、根拠をもとに発表させる(全体)
- ・考えを再構築させる(個人)
- ・振り返り

5th 将来の浦添市について考え、単元を振り返ろう

【授業課題】
浦添市の将来について自分の考えを発信しよう。

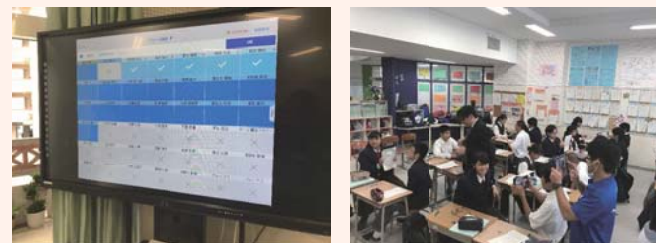
- 【習得】
- ・浦添市役所の人として、地域住民へ考えを発信する
 - ・地域住民として、浦添市役所(都市計画課)の人へ考えを発信する

- 【活用】
- ①か②の視点で考えを発信する。
- これまでの学習を踏まえて、200文字～400文字程度の手紙を作る(割り振りはペアで相談)

- 【問題解決】
- ・互いに原稿を確認する
 - ・自分の考えを発信する(1分程度の動画を録画し合う)

- 【探究】
- ・都市計画課の方から、生徒に向けて、激励の言葉等を行う
 - ・単元の振り返り
 - ・自己評価

授業の様子



生徒の声

浦添市役所の方の視点 赤枠

地域住民からの視点 青枠

どんな人でも乗りやすく乗客の方が互いに交流しあえるようなバスを作りたいです。そのために、席を向かい合いにしたり、喋りやすくするように横並びに座席を作ったりする。また、通勤通学者は自転車を移動手段として、利用している人が多いので通学専用バスみたいな、学校だけを回るバスや、会社に出勤する人たちのために那覇近くなどを多く回るバスを作って、朝の渋滞を解消できるようにしたい。

バスの走る時間帯は、人があまり乗らない時間は住宅地をはしり、人がたくさん移動する時間はアパートや会社付近を走ってほしいです。バスを利用する人が増えれば、渋滞も解消につながると思います。コミュニティバスルートは、人が多く集まる場所、デパートや学校、病院などのほかにも、老人ホームの近くなど高齢者が安心してできる環境づくりにも取り組んでほしいです。

私たちは「浦添市の様々なイベントと連動するバス」を提案します。モノレールなどで浦添市で行われるイベントに来場するとポイントがもらえ、イベントに来場し、ポイントがたまるにつれてコミュニティバスの乗車券がもらえるしくみです。働くことができない高齢者や学生などでも利用しやすいことを目指します。

しっかり時間通りになるバスになるように、バスだけの車線をつくってほしいです。また交通渋滞も解消してほしいです。たまに、渋滞していて間に合わなくなりそうになったりするので、車線を増やしたりしてほしいです。名物になるようなデザインされたバスなどで、乗車数を増やしていったらいいと思います。